

行事等も重なって、現時点ではなかなか追い付いていない状況にあります。また、短時間で行った合併協議も調整を要する事項も多く、苦慮をいたしておる処であります。時期を考慮しながら、改革推進委員会を発足し、事務局、議員・町民が一体となって改革の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

問 合併の最大の効果に関してはどの様に考えておられるか。

答 まず、合併を通じて種々の財政措置がとられることとあり、住民の生活圏の拡大・ニーズの多様化等に広域的な整備が可能となることであります。次に、合併特例債による財源措置であります。新町建設計画に基づく事業経費は合併の年度から10ヶ年に限り、地方債、合併特例債の起債により財源措置ができる。というもので、道路や橋梁整備に取組む財源も確保できる、ということになります。更に、合併特例債充当率が事業費の95%、普通交付税充当率が元利償還金の70%となる普通交



開庁式テープカット

問 真の人員効率化と町づくりについてお伺いいたします。

答 人員の効率化というものは、単に人員を削減すれば解決できるものではなく、町の財政事情が好転しても、町民の心が貧しいという状況であれば、本来の町政のあるべき姿ではない、と思うものであります。町の財政事情等が非常に厳しい時であっても、町民皆が頑張る、逆に、町民が町を盛り立てて行こうとする機運に満ちた、そんな暖かい町民・暖かい町であれば、それもよしではないかと思えます。行政は町民に何をしますか、町民は行政に何をしたら、相互協力の精神の醸成と共に、そうした和気町と町民の雰囲気を作ってまいりたいと思えます。



問 新町の観光に ついて

(1)万世の都運営には、万世の都運営委員会があるとありますが、どのような活動またそのメンバーは、旧三加和町にもふるさと案内会の活動について

(2)トンカラリンの見学者は最近多くなっていると聞きましたが、見学者通路等の整備は万全でないように思ったがその対策について考えておられるのかおたずねします。

答 万世の都の運営委員会の設置とは、道の駅菊水、肥後民家村、肥後古代の森の施設等の企画や実践につき、調査審議するものでございます。委員の人数は16名以内と定められています。

ふるさと案内会の会は、会員14名でそれぞれの施設に対し

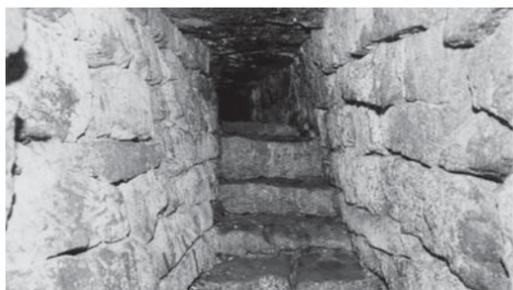


坂本 政光議員

てガイドを行っている。平成11年度から6年間緊急地域雇用特別交付金対策事業として、6年間調査をした。新聞等での影響もあり多くの人が訪れておられます。今のところ、道は全部町道ではなく、私有地を借りていく。整備が十分でないところが多々あります。委員会としては定期的に点検、作業等をしております。

問 現在年間どれくらいの観光客があり、観光客へのPRはされているのか、観光客への案内者は何人か、案内者の研修等は行っているのか、又驚原神社境内にあるトイレを利用してどのようになっているのか。

答 観光統計で51万6000人、多い月で5万4000人、平均4万前後です。PRにつきましては、雑誌、新聞、町のホームページ等で行事の案内を行っている。案内者は11名で、年数回研修会を行っている。驚原のトイレの件については汲取料を予算化して支払い



トンカラリン

をしている。トイレについては、トンカラリンの整備を含め、今後検討していきたい。観光地においては、トイレ、休憩所が必要だと思いますので、行政・商工会ともタイアップし観光客導入を図っていききたい。



環境保全への対応に ついて



荒木 拓馬議員

問 ①本町における環境学習の推進、環境保全啓発、地球温暖化防止対策への具体策と取組みはどの様になっているか。

答 昨年度は河川の生殖調査、EM菌導入等の事業をやっている。それと先日供用開始した、クリーンパークファイブではリサイクルプラザを併設し、リサイクル環境問題に関する情報や、体験学習が出来る施設となっているので教育の一環として利用出来る。後アイドリングストップ宣言事業所の拡大も進めていく必要があると感じている。教育委員会として、菊水の小・中学校で定期的なリサイクル活動を行なっている、また環境ISOに入っている。

問 ②太陽光発電システム設置に対する、補助を考えると

住民の体力向上に ついて

問 ①近年の生活様式の変化に伴い、子ども達の遊びの内容も変わり、外での遊びが減ってきている。以前は遊びの中で、運動神経や運動能力も磨かれ、社会規範も身につけていたように思う。

答 子ども達の体力が低下傾向にあると言われているが、教育委員会としての様に考えているか。学校部活において菊水

地区では、全員が部活動に入り頑張っている。他にそれぞれの自主的なクラブがあり、三加和地区においては総合型スポーツクラブがあり、体育館の利用者数も増えてきている現状をみながら菊水地区においても地域型スポーツを立ち上げていかなければいけないと思っている。

問 ②総合型スポーツクラブが三加和地区で活動しておりますが、合併により使用料、電気料などが負担増になり、町補助金打ち切りが重なり厳しい運営になると聞かす町の対応は。

答 体育館の使用料等に関しては、合併協の中で、三加和、菊水の状況を比べながら、又よその体育館等の利用料を調べた上で決めた。だっでんクラブの使用料については、他の自治体では普通どおりとある。ただ補助金のことについては、どのような経緯だったのか実態も調べながら、クラブ自体の改良点や会員増加の努力も考える必要がある。

肥後元氣村の経営に ついて

問 町100%出資の肥後元氣村の第8期目の決算が出て来たが4年連続の厳しい経営であるが、新しい体勢と組織の中でどの様な経営を考えておられるのか伺います。

答 今後は観光業者との連携、農産物販売関係で出荷協議会やロマン館とも連携をとりながらイベント開催も必要かとも考える。町の財産として地域に根ざした地域の方々によりどころとなるように運営を持って行きたい。経営責任の一端を自ら受け止め、元氣村の一新というような気持ちで経営改善に取り組みたい。



肥後元氣村